

鑑定実績報告書

報告者： _____
 報告番号： _____
 鑑定引受日： _____ 年 _____ 月
 鑑定書提出日： _____ 年 _____ 月

1. 事件項目名：(複数回答可) 設計監理料請求事件 請負代金請求事件 売買代金請求事件 損害賠償請求事件 その他 ()	7. 不具合の部位 (複数回答可) 地盤、基礎 柱 梁 外壁 屋根 内装 床 天井 階段 建具 設備 (電気 給排水 衛生 その他) () その他 ()
2. 事件当事者 (複数回答可) X (申立人、原告) 注文者 設計者 監理者 施工者 その他 () Y (相手方、被告) 注文者 設計者 監理者 施工者 その他 () Z (利害関係人) 注文者 設計者 監理者 施工者 その他 ()	8. 不具合の事象 (複数回答可) 地盤沈下、傾き 構造上の安全性欠如 亀裂、ひび割れ 仕上げ不良 壁厚、コンクリート被り厚さの欠如 漏水、雨漏り 結露、かび 遮音 シックハウス その他 ()
3. 建物の種別 (複数回答可) 戸建て住宅 (注文住宅 建売住宅) 共同住宅、マンション 事務所ビル 商業施設 工場 その他 ()	9. 不具合の原因 設計 工事監理 施工 その他 ()
4. 建物の構造・階数・規模 構造 木造 (軸組工法 枠組壁工法) 軽量鉄骨造 鉄骨造 (ALC その他 :) 鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造 その他 () 階数・・・()階建て 規模・・・()m ²	10. 専門分野 (複数回答可) 意匠 構造 施工 材料 積算 設備 地盤 その他 () 記入に当たって、該当する項目にレ印を付けて下さい。 該当する項目がない場合は、その他にレ印を付けて、内容を括弧内に記述して下さい
5. 工事の形態 新築 増改築 (改装を除く) 改装 その他 ()	
6. 鑑定の態様 (複数回答可) 瑕疵の存否、補修方法および補修費用 出来高・報酬額の算定 建築工事による近隣建物の被害 契約の存否・内容 その他 ()	

1 1 . 紛争概要の補足 : (以上の 1 ~ 10 の選択式回答では不十分と思われる事柄について、
具体的に文章で記述して下さい。)

1 2 . 鑑定事項 : (簡明に箇条書きにて記述して下さい。記述欄が足りない場合は 17 にお書き下さい。)

1 3 . 鑑定概要 : (鑑定依頼項目ごとに鑑定結果を記述して下さい。
記述欄が足りない場合は 17 にお書き下さい。)

1 4 . 結果 :

15 . その他、参考事項 : (本鑑定依頼に至るまでの、鑑定書の有無など。)

16 . 鑑定人としての所感 : (本事案からの教訓、残された建築的課題、学会・裁判所への意見など。)

17 . 追加欄 : (各項目の記述欄では不足の場合はこちらにお書き下さい。)

